

令和4年度のナラ枯れ被害と対策について

1 経緯

- ・令和2年度頃から、市管理地でナラ枯れによる被害を確認しました。
- ・第17期小平市緑化推進委員会では、令和3年4月に、「小平市におけるナラ枯れ病対策の緊急提言」を市長へ提出し、試行的にトラップ設置による対策を行うよう提案しました。

ナラ枯れ病とは（「小平市におけるナラ枯れ病対策の緊急提言」より）

ナラ枯れ病はコナラ等を枯れ死に至らせるナラ菌による病気で、原因はカシノナガキクイムシ（以後カシナガといいます。）という甲虫が樹幹に穿入し、ナラ菌を媒介することにより発病します。生態的には、6月に前年カシナガで枯損したコナラなどから大量のカシナガが一斉に飛び立ち、特定のコナラ樹等に集中攻撃（マスアタック）し、夏中、穿孔・産卵を繰り返すことで秋口には枯れ死に至ります。枯れた材のなかで翌年に成虫となる幼虫が成長します。穿孔・枯れ死被害は、過去の他府県のデータでは5～10年ほど続くといわれています。

2 市管理地におけるナラ枯れ被害

伐採本数 令和2年度 135本

令和3年度 187本

※市管理地とは、保存樹林、緑道、公園、公共施設敷地内です。

3 令和3年度の実施内容

（1）トラップの試行設置

上水新町、上水本町、小川町1丁目の樹林地内の一部の樹木に、カシノナガキクイムシを駆除するためのトラップを設置しました。

① 初動対応した樹木の状況（樹木1本に対して1基設置）

設置樹木93本の内、全枯れ4本

② 集中設置した樹木の状況（マスアタックの疑いのある樹木1本あたり9～12基程度設置）

設置樹木18本の内、全枯れ0本

（2）被害木の伐採・焼却

ナラ枯れによる全枯損木を伐採のうえ、破砕、焼却による処分をしました。

（3）新たな樹木の補植

上水新町の樹林地内で、「どんぐりの里親制度」により成長したコナラ12本を補植（移植）しました。

4 令和4年度の被害状況と対策

(1) 市管理地の被害状況（未確定）

上水新町・小川町一丁目地区樹林地	約50本
野火止用水敷地（松の木通り等）	約20本
市立公園内	約30本

※その外、市役所庁舎敷地や用水路敷地等でナラ枯れを確認しています。

(2) ナラ枯れ対策

① トラップの設置

上水新町一丁目の一つの樹林地を対象として、ナラ枯れの対象となる全樹木に、トラップを設置した。

- ・初動対応した樹木の状況 設置樹木130本の内、全枯れ3本
- ・集中設置した樹木の状況 設置樹木39本の内、全枯れ3本

② ナラ枯れ防止薬剤の活用

対象樹木：「こだいら名木百選」に選定されている、コナラ、クヌギの各1本

(3) 今後の予定

市管理地における、ナラ枯れによる全枯損木を、順次伐採のうえ、破碎・焼却処分する。また、これまで対応できなかった、一部枯損している樹木についても、必要に応じて、剪定・伐採を行う。